

岩手県連 訪問 議事録

開催場所	盛岡グランドホテル	日時：平成27年10月30日（金） 14：30 ～ 16：00	
議事録	作成人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 委員 神林
	署名人	日本商工会議所青年部	日本ネットワーク委員会 芦萱

次第

- ①開会、次第、資料確認 ②出席者紹介（日本 YEG・連合会）③伴会長挨拶・日本 YEG についての説明 ④連合会の挨拶・連合会の事業等の説明 ⑤フリーディスカッション ⑥質疑応答 ⑦閉会

伴：お時間を頂きましてありがとうございます。今日はこのような形で県連にお伺いさせて頂き意見交換会をさせていただきます。昨年仲田直前が全国を周りました。その思いを繋いでいきたいと思ひます。皆さんの思いを集めて国や色々な所に伝えていくのが出向者の役割。メンバーを代表する単会の会長さんたちとどんなお話しが出来るか楽しみにしています。盛岡も久しぶりなので岩手を楽しみたいと思ひます。ブロック大会でも話をさせて頂きましたが、その小さい版ですね。まずは単会の事業から聞かせてください。他団体、親会、行政など。あとはやり方。内容として研修や資質を向上させてるような事業だったり。各単会のメインの事業を教えてください。9単会ありますので1分くらいでやり取りしていければ。

盛岡：盛岡では大きな事業は地域のまつりを盛り上げてさんさ祭りがあり前夜祭を担当。14年目になります。東北でもまだ若い単会です。当初から前夜祭を担当しています。本祭りでもブースを出してまつりを盛り上げています。森岡花火の祭典もあり青年部として同様にブースを出しています。婚活事業もあります。全国的にも YEG や他でもありますが盛岡で5回目。当初は走りかなと。

宮古：30名。メンバーが多くはない。地域イベントの開催がメイン。夏祭り。震災前から行っていたイルミネーションを商店街とコラボをしています。研修として親会と一緒に若手経営者育成をしている。

奥州：合併して1つになった。7年目。11月4日にあるキッズワーカーズというのがメイン4年目。合併2年目でブロック大会を経験。一つになろうと立ち上げた。先日の臨時総会があった。支部制を廃止し一本化になります。産業まつりの一角として50人位でやっていたが今は200人の小学生を募集している。募集1日で150人集まる。就労体験事業。これからも継続していきたい。

久慈：春のまつりを企画。商店街の振興をメインとして出だし。あまちゃんでも盛り上がっている観光客を取り込んだまつりになっている。婚活事業を昨年からはじめています。来週に本番を迎えます。親会の事業者向けの講演会を青年部が主催している。

花巻：夏にフォーラムをやっている。花巻市の主幹。2日間に渡り花巻を歩いてもらう。年に2回婚活のパーティーをしている。今年度18回目。研修を会員向けにしている。ブロックが4つあるのでそこでもやっている。

一関：大合併で8つの市町村が合併して8支部制となっています。各支部でそれぞれ夏祭りやヨイチや秋祭りがそれぞれにある。合併当時に1つにまとめられず継続している。一関市部の三陸子供祭り。大船と一緒にやっている。北上川でやる花火大会。ワインパーティーでの婚活。各支部で主催しているの

で中々共有が出来ていない。今年度次年度と人数が減っているので共有していきたい。

北上：100名になった。4つの委員会から構成。まつりや街コン被災地支援など。30周年でダンスコンテストをした。事業を全員でやることによって仲間たちと絆を深める事ができた。特別委員会として4つの委員会が絡む事業をしたい。秋のゆうき祭り。鬼の格好をして市内の幼稚園を周る。五穀豊穡ということで心優しい鬼になるという事を幼稚園児と共有しています。なんで鬼なのかという文化も周知している。特別委員会として立ち上げている。2月3日。

大船渡：津波の被害が甚大だった。メンバーも復興に向かっていきます。まずは事業所の復興が最優先という事で取り組んでいます。今年度20周年。9月27日にやった。無事に終える事ができた。先輩方から懇親会、表彰式も行った。現メンバーが先輩を分らないという事で1月に新年会を先輩を交えて交流をして、プラスにして復興を成し遂げていきたい。一関さんと一緒に三陸子供祭りをやった。子供にとってもありがたい事業。3回目の街コン。YEGが主催ではないがほぼメンバーが中心。男性50人、女性80人となった。その後の事は把握できていない。出会いがあり仲間と知り合い商店街が活性されれば。サンタがまちにやってくるという事業があります。YEGとしては協力。全国からサンタにふんした方が来てくれる。地域に行って子供にプレゼントを贈る。大学生やボランティアが来てくれるので大船渡に来てもらう機会になる。そこに協力しています。

釜石：震災以降色々な活動に制限があった。24、5名。サラリーマンも多い。60%。まつりで1000人くらいくるものがあり運営、警備、お手伝いをしていた。震災以降昨年復活した。チャリティー事業も継続してきた。クリスマスイブの日にプレゼントを欲しいという家庭に50から100件くらい指定された時間に手分けして伺っていた。みんな家がなくなり仮設に住んでいる物もいる中で今でも継続している。子供のために。土木、建設は忙しいが商店関係は暇。商工会議所活動もままならないので会員も集まらない。会頭が奥様をなくされている。仮設に住んでいる。会社もなくなった。本人も復興できていない。1月16日に式典をしますがなんとかやっていきたい。

伴：婚活事業が多いですね。街婚もいれて。これは依頼があつてやっているのですか？行政が多いと聞きますが。予算は出すからと。

久慈：独自に取り組んでいます。親会からです。

花巻：親会から。

盛岡：県に行って予算をもらって始めた。

伴：県連を通してくださいと言われると聞きます。長野が件に対してプレゼンをして予算を取ってきたというもある。大船渡、釜石の事業がありますよね？

大船渡：震災後ですね。介護団体やボランティア団体の方々が子供たちのためにという事で始まった。補助金も使っている。YEGが完全に入っているわけではないのですが後援という依頼が来る。事業所からの寄付だったりを使わせてもらっている。

釜石：震災以前からやっていた。一般家庭から広報を出すを持ってきてもらっている。

伴：県連の中でもお互いの事業を話すことが少ない。これはいいなというのがあればやってほしい。こういう事業を全国に発信していきたい。親会の広報誌である石垣にも毎月2ページもらっている。代表理事にもお願いして持って来てほしいとっている。いい内容はパクッてほしい。会津のジュニエコもどんどん広がった事業。奥州のキッズワーカーもキッズニアや色んな形で事業が展開されています。見てもらって参考にしてもらいより良い事業にしてほしい。発信をしないと中々入ってこない。合併にさいしての支部制の話がありましたね。こんなに多い県連はないのかな。あっても1カ所2カ所くらい。まつりの弊害がとりましたが支部制を維持していくという所はありますか？

一関：維持の方向です。地域的な広域合併ということもあり。小学校などの合併が進んでいけば支部の事務所なども合併していくのだろうが。広域という事で中々支部の重要性がある。Y E Gだけの問題でもない所はある。Y E Gだけでも交流はしています。少ない所にどうフォローしていくのがこれからの課題でもある。Y E G同士での8支部から4にしたり2にしていくことはあるかもしれない。

伴：日光ブロック大会をしたが。3支部ありました。親会は今でも支部制を引いています。最初は交流から始まった。会長を支部で回していた。支部の中でしか固まらない。ブロック大会を見据えて解消してきた経緯がある。色んな過程がある。支部があっという間に1つの単会としてまとめればいいのか。合併が多いという事でした後の弊害はありますか？行政との関係など。

1市に3商工会議所がある所もある。倉敷など。行政は3分割した予算になったりする。1市に商工会が10あるなど。そっちに取られたりすることもある。何か問題があれば代表理事に伝えてほしい。情報を共有したい。J Cは見てくれるけどY E Gは見てくれないなど問題がある所もある。親会との仲が悪い所はありますか？悪い所もある。口も利かないような所。歴代会長が会頭の時は仲が良かったが変わってからおかしくなったなど。親会の日商の情義委員会に参加している。Y E Gの報告を毎回している。総会でも登壇者になるので日商の中でも立ち位置を作っていきたい。つながりをどんどん作っていきたい。各団体、J C、商工会、中央会さんと年4回ほど交流会をしています。東北のブロック大会でもパネルディスカッションをした。12月金沢で開催されます。各団体同じ世代で同じ地域で商売をしている仲間として交流をしていきたい。東北は結構仲が良いと聞きます。

釜石：少し前はJ Cだったり商工会だったり分かれていたが震災後ボランティアの方が入ってきたり新たな青年団体が出来ている。しかしそっちが受け入れないなどがある。

宮古：若い世代がボランティアなどで事業をやっている。ポット出て予算をもらってポットやっている。継続出来るJ CやY E Gに入ってもらいたいが。なまじ成功してしまっている。せつかくやる気をおこしている若い世代をどう巻き込めるのか。

伴：こういった話は初めてききました。青年とつく団体を集めて話をしようという流れはあるが自分たちは自分たちという若手もいるんですね。

宮古：事業も協賛や後援はする。我々のやり方が通用しない部分もある。やりたい事をやる感じ。

伴：被災地関係の団体だったり入ってきた人たちのグループなのではないでしょうか。これからどうなったとか継続して話を聞かせてください。メンバー数の話がありました。極端に減ったり増えたりいる所は？

一関：220人います。商工会時代のメンバーがY E Gに入っており、各支部の行事が商工会時代と変わら

ないことをキープしているのもあり8支部で出来ている。人数がいる要因なのかな。支部が廃止になり事業をみんなでとなると極端に減る事もあるのかなと。

伴：商工会は？

一関：全部商工会議所になった。

奥州：当時合併協議会に入っていた。1市町村に1商工会議所は岩手と長野が手をあげた。県と市は商工団体が合併しなければ予算を減らすと言っていた。1本になると予算の配分の問題が出てくる。逆になくさないと予算がなくなるので支部という形にしている。

伴：初めて知りました。そういう話だったんですね。1行政に対して1組織であるのがスマートではありませんよね。トップ会談では商工会はなくなった方がいいと商工会会長が話をしていた。弊害の方が大きいのではないかと。お互いの良い所だけ残せばいいのでは。色んな思いがある。国の国会議員を含めて商工会には3人いるのかな。自民党の青年局と正副で会談をした。埼玉の代議士と話をした。さいたまYEGのメンバーでした。管轄が違うがどんどん変わっていくと思います。私からも状況を話していきます。

メンバーも増えた所が多いのかな。

宮古：合併して1商工会議所になったが河合村や他の村、町からはほぼ0人。合併しても人数は増えない。今現在も事業を運営しているが実際に稼働しているのは商工会の50過ぎの方。YEGの名前を使っているが。会費の問題もある。宮古は3万。3000円の所もあった。

伴：合併には問題が多々出るんですね。事業、例会の出席状況を聞きたい。単会の実働の目安になるのかな。全国平均50%くらいだと。

釜石：20数名のなかサラリーマンも多いので半分にも満たない。役員会をお昼にやっているが5、6人が実情。

久慈：50%ですね。

伴：最高は95%という所もある。長崎の大村。千葉の柏。柏は100人の単会で10の委員会がある。声がかげ出来る人数。いかに伝えていけるか。千葉の木更津もサラリーマンの会員が多いため卒業が35才。研修という形になっているのかなと。会社では課長職前後。木更津の会長と会長研修会で交流をしてほしい。

80%起業のメンバーという所もある。ひたちなか。会長研修会でそんな繋がりや話が出来ればいいのかなど。メンバーの多い少ないとあるが、人口は関係ないのかなと。5万人でも20人から100人の単会がある。そんな話もしていきたい。会長研修会の話がありますが岩手さんまだ登録がされていないという事ですが、是非お願いします。事務局さんにイントラネットを通して文書を送らせてもらっています。事務局もつれてきてください。いい機会だと思いますので全国の会長と是非交流をして頂きたいと思います。まだまだ話足りない部分もありますが懇親会も参加させて頂きます。懇親会の交流の方が楽しかったりします。色んな話をさせてください。この後も宜しくお願いします。今日はありがとうございました。

曾我ブロック代表：福島いわきの曾我です。本日はお疲れ様でした。先日の東北のブロック大会からより深まった花無が出来たのではと思います。私も聞けて勉強になりました。地方創生のアンケートを皆様に配信していますのでなるべく早く返信をお願いします。今3単会かな。よろしくお願いします。

県連会長：日商の方に伴会長税制委員会に出席して頂き発言をする時間を頂きました。春の会長会議の内容を発信されているのを確認しました。こういった交流をしていった内容です。日本に言っても届かないんじゃないかなと思わないでほしい。4団体ですが、岩手も友好4団体も昨年締結しています。締結後まだ一度も集まっていない。任期中に開催したいと考えています。様々な意見交換をしたい。今日はありがとうございました。